

第2回学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。結果をお知らせします。表面は、児童のアンケート結果、裏面は保護者の方のアンケート結果を掲載しています。本校の『めざす子ども像』を柱に、前期の結果と比較しながら分析しております。分析結果を生かして、学校・家庭・地域との連携をすすめ、教職員一丸となって『未来を生きぬく力を育成する学校』をつくっていきます。

児童

よくできている だいたいできている あまりできていない できていない

① 自分から進んで学習している。	31.2	52.1	13.7	3.0
② 学校の学習はよく分かっている。	42.1	50.7	5.8	1.4
③ 最後までしっかり話を聞いている。	42.8	47.8	6.8	3.6
④ 相手に分かるように説明できている。	23.5	52.1	20.9	4.5
⑤ 進んで読書をしている。	41.7	29.3	19.6	9.4
⑥ 楽しく学校生活を送っている。	66.3	27.4	4.8	1.5
⑦ 進んであいさつができている。	41.5	37.5	16.4	4.6
⑧ 友だちを大切にしている。	73.1	25.6	1.3	0.0
⑨ 先生や友だちなど周りの人に対して正しい言葉づかいで話している。	33.1	56	8.1	2.2
⑩ 学校の約束を守って生活している。	44.8	47	6.3	1.2
⑪ 自分にはいいところがあると思う。	33.7	41.7	17.2	7.4
⑫ 早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができている。	29.8	45.3	19	6.0
⑬ 難しいことも最後までやり切っている。	42.5	43.5	10.9	3.2
⑭ 外遊びなど進んで運動している。	43.1	26.5	20.6	9.8
⑮ 係や当番の仕事を進んでできている。	57.6	36	4.4	0.9
⑯ 忘れ物なく学習の準備ができている。	27.5	56.9	12.8	3.8
⑰ 困ったことがあれば周りの人に相談している。	43.7	34.5	15.3	7.5
⑱ 家で自分の役割や手伝いをしっかりしている。	34	41.2	17.6	17.2

自ら考え、学ぶ子

学習を進めるうえで「話を聞くこと」「分かりやすく話すこと」はとても大切なことです。③「聞くこと」について、「よくできている」と回答した児童が42.8%と、前期に比べて8.2%上昇していました。一方、④「話すこと」については、「あまりできていない」「できていない」と回答した児童が、4.2%多くなっていました。しっかり聞けるようになってきたことを自信にしながら、「話すこと」についても、児童自身が、「しっかり伝えられた」「伝えてよかった」と実感できるよう学習を工夫して進めていきたいと思います。

自分もまわりも大切にする子

⑧「友だちを大切にしている」ことについて、前期に引き続き95%以上の児童が、肯定的に回答しています。また、後期の結果でうれしく感じるのは、⑥「楽しく学校生活を送っている」について、前期に比べて肯定的に回答した児童が6%多くなっていたことです。子どもにとって「友だち」の存在は、楽しく過ごすために大変重要です。今後も友だちを大切にする風土を大事にしながら、みんなが楽しく過ごせる学校をめざしていきたいです。

元気でたくましい子

⑫について、前期に比べて肯定的に回答した児童の割合が、4.5%減少していました。年齢が上がるにつれて睡眠時間が短くなる傾向もあるようです。健康にいきいきと過ごすために、今一度、生活リズムに目を向けて振り返ってほしいと思います。

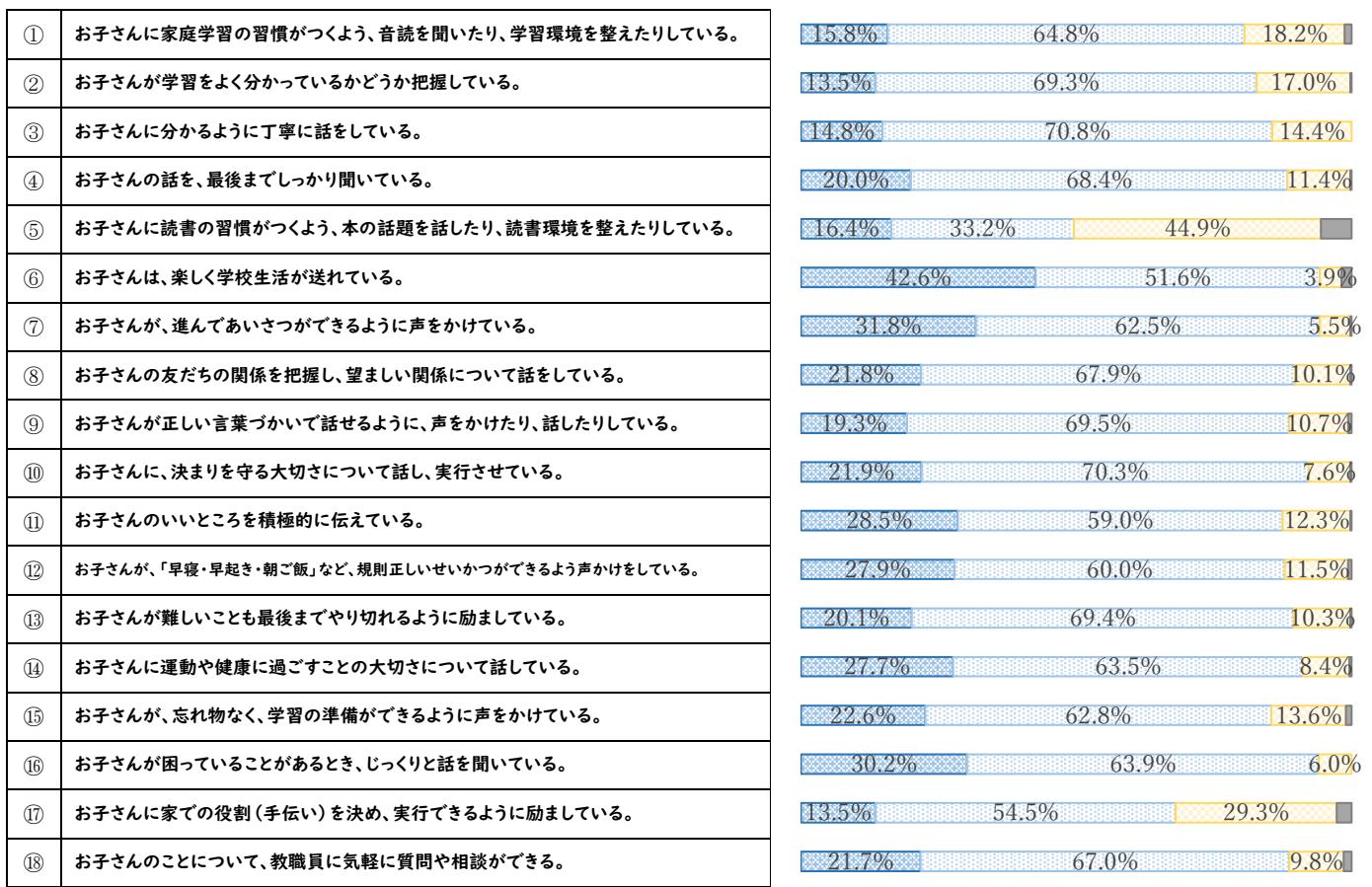
保護者

よくできている

だいたいできている

あまりできていない

できていない



前期に引き続き、ご家庭でお子さんにどのように関わられているかがよく伝わってきました。また、前期に比べて肯定的に回答されている項目も多く、関心をもっていただいていることに心強く感じます。

学校の学習、分かってる?

②について、前期はおよそ35%の方が、「お子さんが学習を分かっているか(あまり)把握できていない」と回答されていましたが、後期は、20%弱に減少していました。通知表や個人懇談会等でお伝えできたり、ご家庭でもお子さんの学習面に目を向けてくださっていたりする表れかと思い、うれしく感じます。

今後もお気軽にご相談ください

⑯では、前期はおよそ85%の方が肯定的な回答をされました。後期はさらに3.5%増えて、88.7%の方が肯定的に回答されました。前期に引き続き、教職員一同たいへん嬉しく、また身の引き締まる思いです。今後もお子さんについての悩みを共に考えたり、成長と一緒に喜んだりしていきたと思います。今後も、ぜひご相談ください。

子どもに向き合う

後期の保護者の方への質問項目の中で、前期と比べて印象的だったのが、⑯「お子さんが困ったことがあるとき、じっくり話を聞いている」です。前期もおよそ85%の方が肯定的に回答されていたのですが、後期はおよそ95%の方が肯定的に回答されています。また、「よくできている」と回答された方の割合がおよそ15%上昇していました。お子さんにとって、じっくりと自分に向き合って話を聞いてもらえることは、安心感を感じられたり、次にがんばっていこうとする心のエネルギーとなったりします。

さらに、児童アンケートでも上昇した項目⑥ですが、保護者の方も⑥「お子さんは、楽しく学校生活が送れている」について、前期よりも10%以上の方が肯定的に回答されました。お子さんのいいところにもしっかり目を向けてくださっている結果で大変うれしく感じました。